

使える！わかる！動ける！
企業の方はもちろん、支援に携わる方にもお薦め！

チラシ限定・参加費無料！

※本チラシをご覧の方は、
クーポンコード「JPAAIP」入力で参加費無料！

“強み”を利益に変える実践型プログラム 知財活用塾 - 入門編 -

「知っている」から「使いこなす」へ
知財を「コスト」ではなく「武器」に変える！

セミナー の特徴

- ☑ “収益に効く”知財活用を学ぶ
- ☑ 9割が「業務に活かせる」と回答
- ☑ グループワーク中心の構成
- ☑ 「権利」以外の側面にも注目

日本弁理士会 主催

【開催時間】 13:30-17:30 (全3講共通)

※各講ごとに「会場開催」か「オンライン」のどちらかを選んで受講できます（講ごとの組合せは自由）

※ワークショップ実施のため、「会場開催」での受講がおすすめです！

第1講

会場開催 2026.9.16(水) 
弁理士会館
東京都千代田区霞が関3-4-2

オンライン 10.6(火)

加藤 浩

大学教授として知的財産法の講義を担当している。
特許事務所の顧問弁理士として活動している。
20年ほど特許庁にて特許審査官・審判官を担当した。
地方大学において10年近く特許塾の講師の経験あり
副講師：原 晶子/木下 忠/廣瀬 勝夫
(会場) (オンライン)



第2講

会場開催 2026.9.30(水) 
日本弁理士会会議室
東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビル

オンライン 10.22(木)

中 富雄

工作機械メーカーから特許事務所に転職。
複数の特許事務所で勤務後、中小企業支援を
主な業務とするために10年程前に独立する。
独立する前から継続して中小企業支援に携わっている。
副講師：浜谷 康一/武田 雄人



第3講

会場開催 2026.10.14(水) 
AP虎ノ門
東京都港区西新橋 1-6-15 NS 虎ノ門ビル

オンライン 11.13(金)

今野 佳洋

企業に所属する弁理士。発明者として企業内で
商品開発と知的財産の融合を検討、実行する。
商品開発責任者としてアメリカ子会社へ出向し、
広義な知的財産にて売上を伸ばすことを経験する。
副講師：山本 睦也/永田 俊策



※講義終了後に講師を交えた任意参加のフリースタイルタイムあり（30分程度）

お申込みはこちらから

二次元コードまたはWEBサイトからお願いします。

<https://peatix.com/event/5113962>

ネットで検索



知財活用塾



お問合せ

日本弁理士会 経営・支援室

TEL : 03-3519-2709

MAIL : keiei@jpaa.or.jp

セミナーの内容

本講座では、「何をしたら事業に知財を活かせるのか、収益に貢献できるのか」という問いに対し、講師陣から冒頭に明確な回答を提示します。その上で、各回ごとに異なる視点から、これを実現するための具体的なアプローチを、グループワークを通じて体感していただきます。

受講者層として、中小企業やスタートアップの経営者、知財担当者、またこれらの方を支援する支援担当者等で、特許、商標等の制度自体についてある程度ご存じの方を想定しています。法律の解説は最小限にとどめ、企業の現場で役立つ視点や考え方を中心にお伝えします。1日のみでも受講可能です。

第1講

会場開催

9.16_水

オンライン

10.6_火

事業活動と知的財産権

第1部 ヒット商品と知的財産

第1章 商品開発と知的財産

- (1) 自社の強みは何か
- (2) 知財制度の役割
- (3) 商品開発と知的財産

第2章 事例研究

- ・「モンカフェ」「ルンバ」「超立体マスク」「雪見だいふく」など

第3章 グループ討論

- ・開発者の視点から、知的財産の保護と活用に配慮した商品開発について検討します。

第2部 事業活動と知的財産

第1章 事業活動と知的財産活動

- (1) 知的財産活動の現状
- (2) 知的財産活動の課題
(契約の問題を含む)
- (3) 知的財産活動の今後の方向性

第2章 事例研究

- ・「セルフレジ事件 (UNIQLO)」「クイックホイール事件 (Apple 社)」等

第3章 グループ討論

- ・知財担当者の視点から、開発された商品における知的財産の保護と活用にについて検討します。

第3部 企業経営と知的財産

第1章 知的財産戦略の考え方

- (1) 知的財産戦略の必要性
- (2) 知的財産戦略の類型、社内体制・予算
- (3) 知的財産戦略の策定に向けて

第2章 事例研究

- ・知財ミックス戦略、オープン＆クローズ戦略、ポートフォリオ戦略など

第3章 グループ討論

- ・経営者の視点から、開発された商品に関する知的財産戦略を検討します。

第2講

会場開催

9.30_水

オンライン

10.22_木

知財をどう活用すべきか ～価値を高める知財の活用方法～

第1部 価値を生み出すには

- (1) 顧客に提供する価値を生み出す源泉とは
- (2) 知財に対する認識を広げる

グループ討論

“ヒット商品”となる理由を多角的に考える

第2部 知財を捉える

～経営デザインシートを使って～

- (1) 価値の源泉を抽出する
- (2) 価値の源泉における知財を認識する

グループ討論

「これまで」の姿を見直し、
「これから」の在りたい姿を構想する

第3部 価値を最大化させる ための知財活用とは

- (1) 価値を最大化させるための知財戦略
(オープン＆クローズ戦略)
- (2) 知財活用事例紹介

グループ討論

「これから」の在りたい姿を達成するために
知財を活用する

第4部 まとめ

第3講

会場開催

10.14_水

オンライン

11.13_金

稼ぎ続ける仕組みづくり

第1部 知的財産の変化

- (1) 知的財産は役に立っていないのか
- (2) 技術で勝ってビジネスで負ける日本

第2部 ビジネスモデルで 知的財産を再定義する

- (1) R&Dプロセスにマーケティング要素を取り入れる
- (2) ビジネスモデルと知的財産の融合

グループ討論

ビジネスモデルを想定した知財の活用
『実際の企業で起こった事例を元に
ニーズとシーズをどのように考える
べきかグループ討論します。』

第3部 知的財産マネジメントの 活用方法

- (1) レベル別知的財産戦略
- (2) 商標の有効活用
- (3) グレーゾーンの考え方

グループ討論

競争優位性による知財の活用
『実際の企業で起こった事例を元に
知財戦略をどのように考えるべきか
グループ討論します。』

セミナー受講者の声



演習と講義の
組み合わせで
理解度が高まった



普段の業務で
得られない
視点を得られた



ベストでなくても
ベターな答えを
みつける考え方を
学べた

※過去に実施していた前身の「J P A A 知財活用講座」及び昨年度実施した「知財活用塾」に近い内容です。
※上記の構成は、細部が変更となる可能性があります。